

外国人ピーマン生産者向けにウイルス病対策講習会を開催

令和4年8月31日（水）、神栖市矢田部公民館において、マルヤ東関東連組合員を対象とした「ウイルス病対策講習会」を開催しました。

本講習会では、近年増えている中国系の組合員向けに、ピーマンの重要病害であるピーマンモザイク病と黄化えそ病（ノーテン病）の症状や防除対策について、普及センター職員が説明を行いました。参加者の中には日本語が苦手な方もいることから、今回は中国語の通訳を介しての説明となりました。

内容は、①モザイク病と黄化えそ病の症状・感染方法の違い、②モザイク病抵抗性品種栽培時の留意点、③黄化えそ病の感染源となるアザミウマ類の防除方法について、です。また、就農して間もない方も多いため、病害虫対策の他、土壌診断結果の見方や施肥改善についても幅広くお伝えしました。

講習会終了後は、個別に相談に来る生産者の方も多く、病害対策に関する意欲の高さがうかがえました。普及センターでは引き続き、ピーマンの収量向上につながる病害対策技術の普及を通して、ピーマン生産者の所得向上を支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター（儲かる農業）

